

2019年12月30日～2020年1月6日

アメリカのイラン先制攻撃、日韓・米韓・米朝、香港

立憲民主党の枝野代表、自衛隊派遣「抜本的議論を」 中東緊迫化踏まえ

時事通信 2020年01月04日 18時51分

立憲民主党の枝野幸男代表は4日、三重県伊勢市での記者会見で、米軍によるイラン革命防衛隊コッズ部隊司令官の殺害に関し、「中東地域における緊張を極度に高めると危惧する」と語った。その上で、先に閣議決定された中東への自衛隊派遣について「自衛隊を行かせていいのか、国会で抜本的な議論が必要だ」と指摘した。

中東訪問へ「準備進める」 安倍首相

時事通信 2020年01月04日 14時32分



ゴルフを楽しむ安倍晋三首相＝4日午前、千葉県袖ケ浦市

千葉県袖ケ浦市

安倍晋三首相は4日、千葉県袖ケ浦市でゴルフを楽しんだ。記者団から米国とイランの間で緊張が高まる中東情勢を問われ、「情勢が許せば中東を訪問する準備を進めたい」と語った。首相はサウジアラビアとアラブ首長国連邦(UAE)への今月中旬の訪問を検討している。

首相、中東情勢への言及避ける 記者団の質問に

2020/1/4 12:37 (JST) 1/4 14:24 (JST) updated 共同通信社



ゴルフを楽しむ安倍首相＝4日午前、千葉県袖ケ浦市

市

安倍晋三首相は4日、イラン革命防衛隊の司令官を米軍が殺害し、緊迫する中東情勢について言及を避けた。千葉県袖ケ浦市のゴルフ場で記者団から現在の中東情勢の受け止めに問われたが「今月、諸般の情勢が許せば中東を訪問する準備を進めたい」と述べるにとどめた。

首相は今月中旬、サウジアラビアやアラブ首長国連邦(UAE)などを歴訪する方向で調整している。

茂木外相「平和構築へ外交努力に全力」 中東情勢巡り

日経新聞 2020/1/5 17:24

茂木敏充外相は5日、米軍によるイラン革命防衛隊の精鋭組織「コッズ部隊」のソレイマニ司令官の殺害を受け「中東情勢が緊迫していることは間違いない」との認識を示した。中東地域の在留邦人の安全確保に努める考えを示したうえで「関係国としっかり連携しながら中東地域の情勢安定化、平和の構築へ外交努力に

全力を傾けたい」と強調した。

同日からの東南アジア訪問に先立ち、羽田空港で記者団の質問に答えた。

しんぶん赤旗 2020年1月4日(土)

トランプ米政権による国連憲章を無視した軍事的挑発行為を厳しく非難する 志位委員長が談話



日本共産党の志位和夫委員長は3日、次の談話を発表しました。

一、3日、トランプ米大統領の指示により、米軍がイラクのバグダッド空港で、イラン革命防衛隊幹部を空爆で殺害するという事態が引き起こされた。

日本共産党は、米国トランプ政権による国連憲章を無視した先制攻撃——軍事的挑発行為を厳しく非難する。緊張の激化とエスカレーションを深く懸念する。トランプ政権に対し、軍事的挑発をやめ、イラン核合意にただちに復帰することを強く求める。

一、トランプ政権による軍事的挑発行為によって、アメリカとイランの緊張関係が激化するも、自衛隊の中東沖への派兵は、いっそう無謀で、危険きわまりないものとなった。安倍政権に対し、自衛隊派兵の閣議決定をただちに撤回することを強く求める。いま日本政府がなすべきは、トランプ大統領に対してイラン核合意への復帰を説く外交努力であることを、重ねて強調するものである。

しんぶん赤旗 2020年1月5日(日)

米国を世界が批判 イラン司令官殺害 国連総長も懸念

米国がトランプ大統領の指示でイラン革命防衛隊のソレイマニ司令官を2日に殺害したことをめぐり、世界各国から批判が相次いでいます。

国連のグテレス事務総長は3日、報道官を通じて発表した声明で、事態の激化に「深い懸念」を表明。「各国指導者は最大限の自制をすべき時だ。世界には、新たな湾岸戦争に対応する余裕などない」と警告しました。

超法規的・恣意(しい)的処刑問題を専門とするアニェス・カラマール国連特別報告者は同日、ツイッターで米国による空爆の国際法上の合法性に疑問を呈し、国連がより強力に介入する手段を活用するよう要請。「今ほど国連とその指導性の強化が現実にも求められているときはない」と語りました。

ジョゼップ・ボレルEU外相はツイッターで「制御不能になる前に、現在の暴力の連鎖を止める必要がある」と強調。関係各国は「最大限の自制と、責任を示すべきだ」と呼び掛けました。

米国の野党・民主党からも「新たな破滅的戦争にわれわれを導く」(バーニー・サンダース上院議員)、「中東における新たな衝突や、より多くの死者を出す可能性を増大させる」(エリザベス・ウォーレン上院議員)などと批判が相次いでいます。

英BBCによれば、イランのザリフ外相は国営テレビに出演し、

米軍の攻撃は「明確なテロ行為」だと指摘。ロイター通信には「米国の責任を問うため、国際的なレベルでさまざまな法的措置を取る」と表明しました。

防衛相、哨戒機の運用状況確認 海自派遣踏まえ、ジブチ拠点視察

2019/12/28 21:40 (JST)共同通信社



ジブチの自衛隊部隊拠点を視察する河野

防衛相（左端）＝28日（共同）

【ジブチ共同】河野太郎防衛相は28日（日本時間同）、アフリカ東部ジブチで、ソマリア沖アデン湾を対象に海賊対処活動を展開している自衛隊部隊の拠点を視察した。河野氏は自衛隊の活動について「国際社会に貢献する大きな意義がある」と激励。27日に閣議決定した海上自衛隊の中東派遣を巡り、海賊対処活動を担うP3C哨戒機を活用することを踏まえ、運用状況を直接確認した。

河野氏は海賊行為の取り締まりを目的に、P3C哨戒機が活動するソマリア沖アデン湾に関し「国際社会の平和と安全のため、この海域の安全を守ることが不可欠だ」と強調した。

情勢緊迫 イランが繰り返し報復宣言 米大統領が強く警告

NHK1月5日 18時03分



アメリカがイランの司令官を殺害し、イランが3日間の喪に服すると表明してから2日たちました。この間、イラン側が繰り返し報復を宣言しているのに対し、トランプ大統領は報復に出れば激しく反撃すると警告し、情勢は緊迫しています。

アメリカのトランプ政権は、イラン革命防衛隊のソレイマニ司令官をイラクの首都バグダッドで殺害したと現地時間の3日、発表しました。

イランの最高指導者ハメネイ師は、国民から英雄視される司令官の殺害を受けて、国を挙げて3日間、喪に服すると表明し、2日がたった5日には葬儀が営まれました。

またイラン国民の間ではアメリカへの怒りが高まっていて、ハメネイ師をはじめ政権の幹部は繰り返し報復を宣言し、革命防衛隊の幹部は「アメリカの35の重要施設を狙うことができる」と述べました。

さらに4日にはイランと強いつながりのある武装組織「カタイブ・ヒズボラ」が「5日の夜以降、アメリカ軍基地から1キロ以上離れるべきだ」とする声明を出し、アメリカ軍への攻撃を示唆しました。

これに対しトランプ大統領は4日、ツイッターでイランが報復に

出た場合、直ちに激しく反撃するとしうえて、すでに攻撃対象として52の目標を選定し、「目標のいくつかはイランとイランの文化にとって非常に重要なものだ」として強く警告しました。

さらに4日深夜にも「私が強く忠告したのにもし彼らがまた攻撃してきたら、今までやられたことがないほど激しく攻撃する」、「われわれの軍事装備は世界最高かつ最大で、イランがアメリカの基地やアメリカ人を攻撃すれば、ためらいなくそれらを送り込む」と立て続けに投稿してけん制しました。

イランではアメリカによる殺害の発表から丸3日がたったあとの現地時間の6日にも喪が明ける可能性があり、イラン側がどのような報復に出るのか、情勢は緊迫しています。

アメリカ 増派部隊が出発

AP通信などによりますと、アメリカ国防総省がイランとの緊張の高まりを受けて増派を決めた部隊の一部が4日、クウェートに向けて出発しました。

出発したのはアメリカ南部ノースカロライナ州を拠点とする陸軍第82空挺師団の数百人の兵士で、国防総省が4日に配信した映像では、兵士たちが装備の点検をしたり、航空機に搭載したりする様子が確認できます。

民主党 攻撃の判断に疑問 追及の構え

トランプ大統領の指示でアメリカ軍がイランの精鋭部隊の司令官を殺害したことに対し、野党・民主党は攻撃の判断に疑問を呈し、追及の構えを見せています。

民主党のペロシ下院議長は4日、法律の規定に基づき、政権側から軍事力を行使した際の報告を受け取ったとしうえて「報告の文書からは攻撃を決定したタイミングや方法、そして正当性に関して、深刻で切迫した疑問を感じた」と述べ、攻撃の判断に疑問を呈しました。

そして「今回の攻撃は議会との協議も、軍事力の使用許可も、明確で適切な戦略の説明も、ないまま実施された」と述べ、政権側に説明を求めるとして判断の経緯や根拠などを追及する構えを示しました。

また大統領選挙の民主党の有力候補、バイデン前副大統領は3日、アイオワ州の演説で「現政権は最大限の圧力をかけてイランの侵略を阻止し、核合意でうまく交渉するとしてきたが、どちらにも失敗した。そして司令官を殺害しイランからの攻撃を防ぐというゴールを定めたが、この行動はほぼ確実に反対の影響を与えるだろう」と述べて、司令官の殺害がさらなる攻撃を引き起こすと批判しました。

アメリカではことし11月の大統領選挙に向けて選挙戦が本格化していて、今回の司令官殺害とイランとの緊張の激化が選挙戦の行方にも影響を与える可能性があります。

イラン軍司令官「米に反撃を実行する勇気ない」

イランのメディアが5日に伝えたところによりますと、イラン軍のムサビ司令官は「ソレイマニ氏の殺害は節度のない、許しがたい行為だ」と述べて、アメリカ軍の攻撃を改めて強く非難しました。

そのうえて、トランプ大統領がイランが報復に出た場合は、52の目標を選定して、直ちに反撃するとしていることについて「アメリカには実行する勇気がないと思う」と述べてけん制しました。

茂木外相「在留邦人の安全確保」

茂木外務大臣は5日夕方、東京都内で記者団に対し、「中東情勢が緊迫していることは間違いないと思っている。中東地域における在留邦人の安全確保とともに、関係国ともしっかりと連携し、情勢の安定化と平和構築に引き続き、外交努力を全力で傾けていきたい」と述べました。

トランプ氏、米国人攻撃なら「52カ所に報復」 イラン司令官殺害で懸念広がる

時事通信 2020年01月05日 23時10分



トランプ米大統領＝2019年

12月31日、フロリダ州パームビーチ（AFP時事）

【ワシントン時事】トランプ米大統領は4日、イランが米国の国民や財産に攻撃を仕掛けた場合、反撃として「われわれはイランの52カ所を標的にする」とツイッターに投稿した。米軍の空爆によるイラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官殺害を受け、イランで報復の声が上がっていることに強い警告を発した。

トランプ氏は標的の52カ所について、1979年にイランで起きた米大使館占拠事件で人質になった米国人の数で「イランおよびイラン文化にとって極めて重要なもの」が含まれると主張した。また、ソレイマニ司令官が「米国人を殺し、他の多くの人をひどく傷つけたテロリストの指導者」だと断罪し、殺害を正当化した。

これに対し、イランのザリフ外相は5日、ツイッターで「文化遺産への攻撃は戦争犯罪だ」とけん制。AFP通信によると、イラン軍のムサビ総司令官は「米国には（戦争を）始める勇気はないだろう」と挑発した。また、最高指導者ハメネイ師の軍事顧問はCNNテレビのインタビューで、「（ソレイマニ司令官殺害への）報復は軍事施設への軍事的な対応になるだろう」と語った。

米国土安全保障省は4日付でテロ警戒情報を出し、現時点で「米国内で特定かつ信頼に足るテロの脅威を示すものはない」としながらも、イランや親イラン組織が米国内で活動する意欲と能力を誇示していると指摘。米国の関連組織を狙ったサイバー攻撃や、反米思想に感化された者が起こす「ホームグロウン（国産）テロ」を警戒するよう呼び掛けた。

一方、ホワイトハウスは4日、ソレイマニ司令官殺害作戦について、正式に米議会へ通告した。軍事行動から48時間以内の議会通告を定めた戦争権限法に基づくもので、同司令官が米国人らを標的に「差し迫った攻撃を企てていた」などと説明したとみられる。

野党民主党のペロシ下院議長は声明で、通告文書が「イランと対決するという米国の決定に関し、そのタイミングや方法、正当性をめぐり緊急で深刻な疑念を生じさせた」と指摘。「トランプ政権による挑発的な軍事行動が、米国や同盟国の軍人、外交官、民間人を危険にさらす」ことに強い懸念を示した。

米、イランと威嚇の応酬 トランプ氏「52カ所攻撃」

2020/1/5 22:30 (2020/1/6 1:11 更新) 日本経済新聞 電子版



米軍に殺害されたイランのソレイマニ司令官

のひつぎを囲み多くの市民が悼んだ（5日、イラン南部アフワズ）=AP（イラン学生通信提供）

【ワシントン=中村亮、ドバイ=岐部秀光】米軍によるイラン革命防衛隊司令官の殺害を巡り、米国とイランの威嚇の応酬が激化している。報復をちらつかせるイランに、米国は重要施設など52カ所への反撃を警告。米国の単独行動主義的な政策は中国やロシアの非難を呼び、中東にくすぶる反米の機運に火をつけた。米イラン関係の悪化が国際社会の分断を一段と深めかねず、米国の中東政策の転機になる可能性もある。

トランプ米大統領は4日、イランが米国人や米国の施設などを攻撃した場合に「イラン関連の52カ所を標的にとも迅速かつ激しく攻撃する」とツイッターに書き込んだ。「米国は2兆ドル（約216兆円）を軍の装備に支出し、世界最大だ」とも警告した。イランの最高指導者ハメネイ師の軍事顧問を務めるデフガン前国防軍需相は5日、司令官殺害への報復の方法について、米CNNに「軍事施設に対する軍事的な対応になる」と述べた。

イラクの首都バグダッド中心部では4日、旧米軍管理区域（グリーンゾーン）にある米大使館から1キロ以内の地点に何者かがロケット弾を撃ち込んだ。司令官殺害で反米感情が一挙に再燃した。イラクの議会は5日、緊急会議を開き、米軍を念頭に外国部隊の駐留終了を求める決議案を可決した。

中東で米イランの緊張が高まっているのを受け、英政府は4日、イラン近海のホルムズ海峡を通過する英船籍の船舶の護衛を再開すると発表した。米国の同盟国にも困惑は広がる。

情勢を一段と流動化させかねないのは、米国の単独主義への疑念の広がりだ。米国は司令官殺害を「海外の米国人を守るため」と説明したが、法的根拠や正当性を問う声広がる可能性もある。中国とロシアはイランを支持する姿勢を打ち出した。ロシアのラブロフ外相とイランのザリフ外相は3日の電話協議で「米国の行動は国際法の規範に反している」との認識で一致した。中国の王毅外相も4日、ザリフ氏と電話し「米国に武力行使の乱用をしないように求める」と非難した。

イランは中ロとともに米国への対決姿勢を強める可能性が高い。米イランの敵対を前提にしろうじて保たれていた中東の均衡が崩れる恐れがある。米国はオバマ前政権が中東への関与を後退させ、トランプ氏も米軍の展開に消極姿勢だったが、今回の司令官殺害は中東の緊張を一挙に高めた。

米国は軍事力を中東に展開し攻撃を受けるリスクを取るのか、撤退を進め結果的に影響力をイランに譲ってしまうのか。司令官殺害が招いた混乱をどう收拾するかは、まだみえない。

イランの対米報復、中東各地に広がるおそれ

日経新聞 2020/1/4 12:52 (2020/1/4 22:31 更新)



【ドバイ=岐部秀光、ワシントン=中村亮】米軍によるイラン革命防衛隊司令官の殺害は、両国に深刻な報復の連鎖を招くおそれがある。革命防衛隊幹部は中東にある米関連施設やホルムズ海峡を航行する船舶などが攻撃対象になると発言、トランプ米政権は中東に米兵を増派する検討に入った。対話のチャンネルがない両国が「レッドライン（越えてはならない一線）」を互いに見誤り、偶発的に衝突するリスクがくすぶる。

イランによる報復はイラクやサウジアラビアにある米国の施設が標的となる可能性が指摘される。無人機やミサイルだけでなく、サイバー攻撃もイランの選択肢となる。

革命防衛隊幹部はイスラエルの都市テルアビブも攻撃対象の候補と明言した。中東各地に展開する親イラン民兵組織が手足となる可能性もあり、軍事的衝突が幅広い地域に広がるおそれもある。数日中に公表するとみられるイラン核合意の義務停止「第5弾」にもウラン濃縮レベルの大幅な引き上げなど強硬策を盛り込む懸念がある。

イラク情勢の混迷が深まる懸念も強い。フセイン政権崩壊後、もともとイランと同じイスラム教シーア派が国民の多数を占めるイラクで、イランは有力政治家や民兵組織とのつながりを深めた。過激派組織「イスラム国」(IS)の掃討を優先する米国も親イラン民兵の力を間接的に頼った。

イランの影響力をそごうとする米軍のイラク攻撃は国民の反米感情を高めているもようだ。イラク議会が米軍の撤退を求める決議を投票する可能性も指摘されている。

イラクを舞台にした米とイランの対立は高まっていた。2019年12月27日にはイランが支援するとされる武装勢力の攻撃で民間人1人が死亡、米兵4人が負傷した。国務省高官は「忍耐も限界に達した。警告でなく行動に出る必要が生じた」と振り返る。ブルームバーグ通信によると、トランプ氏は米国人死傷者が出たとの報告を受け、ソレイマニ司令官の殺害計画の策定を即座に指示。クリスマス休暇中だったペンス副大統領やポンペオ国務長官、オブライエン大統領補佐官(国家安全保障担当)らと協議した。ソレイマニ氏が3日未明にバグダッドの国際空港に到着すると、情報をつかみ、無人機による精密攻撃を実施した。

トランプ氏は19年6月にイランが米無人機を撃墜した際には、イランへの空爆を実行直前に中止した。米軍高官は空爆でイラン側に150人の死者が出る可能性を報告。無人機撃墜で米国側に死傷者はなく、釣り合わないと判断したためだ。

元国務省高官のマイケル・シン氏は、米国に死傷者が出ればトランプ氏がレッドラインを越えたとみなし、軍事攻撃に踏み切ることが今回明らかになったと指摘する。

だがイラン側からすればイラクやシリアでISの掃討作戦を指揮

するなどカリスマ的な英雄であるソレイマニ氏の殺害こそ、一線を越えた暴挙と映っただろう。「戦争は望んでいない」というトランプ氏の発言をイランの最高指導者ハメネイ師が額面通り受け取る可能性は小さい。

米とイランの挑発の応酬には両国の指導者が互いのレッドラインがどこにあるのかを把握し切れていない状況がにじむ。イランと米国の軍事力には圧倒的な差があり、常識的には直接の武力衝突を避けるのがイランにとっての得策だ。しかし米国の制裁で経済が悪化するなか、イラン国内ではロウハニ大統領ら穏健派の立場が弱まっており、保守強硬派の主導で合理的な判断が働かないおそれもある。

イラン「国際法違反だ」と反発 米は52カ所を攻撃目標に設定 産経新聞 2020.1.5 23:51

【ワシントン=黒瀬悦成、ベイルート=佐藤貴生】トランプ米大統領は4日、イランが米軍による革命防衛隊の精鋭「コッズ部隊」のソレイマニ司令官殺害の報復として米国民や米施設を攻撃した場合に備え、イランの重要施設など52カ所を攻撃目標に設定したとツイッターで明らかにした。「迅速に甚大な打撃」を与える態勢を整えたと強調し、牽制(けんせい)した。イラン外務省は5日、トランプ氏の発言内容を「国際法違反だ」などと批判し、反発している。

トランプ氏は「イランは、米国民を死傷させ、多数の人々を殺害したテロリストの親玉(であるソレイマニ司令官)が殺されたことへの仕返しに、特定の米施設を攻撃すると厚かましくも言い放っている」と非難。「これ以上、米国を脅すな」と警告した。攻撃目標を52カ所にしたのは理由は、イランの首都テヘランで1979年に起きた米大使館人質事件で人質になった人数に合わせたとしている。

ロイター通信によると、トランプ氏の発言に先立ち、革命防衛隊のアブハムゼ幹部は、米国への報復として中東にある35カ所の米関連施設やホルムズ海峡を航行する船舶などを攻撃目標にすると表明していた。

5日には革命防衛隊のデフガン司令官が米CNNテレビの取材で、米国への報復について「軍事施設に対する軍事的な対応になる」と明言した。

米軍が3日にソレイマニ司令官を殺害して以降、中東地域では緊張が高まっている。イラクの首都バグダッドにある旧米軍管理区域(グリーンゾーン)の米国大使館近くでは4日、ロケット弾1発が撃ち込まれた。米軍が駐留するイラク軍基地などにもロケット弾数発が発射された。

イランの支援を受けるイラクのイスラム教シーア派武装組織「神の党旅団(カタイブ・ヒズボラ)」は4日、イラクの治安部隊に対し、5日夜以降は同国で米軍が駐留する基地の1キロ以内に近づかないよう警告した。同組織の創設者はソレイマニ司令官とともに米軍に殺害されていて、報復攻撃が懸念されている。

米 中東地域に3000人増派 イランに対話呼びかけも

NHK 2020年1月4日 16時25分

アメリカ政府は、イランの司令官を殺害したことでアメリカ軍に対する脅威が高まっているとして、中東地域におよそ3000人の

兵士を新たに派遣することを明らかにしました。一方でホワイトハウスの幹部は、イランが報復措置をとらないようくぎを刺すとともに、アメリカとの交渉のテーブルにつくよう呼びかけました。アメリカ国防総省の報道官は3日、中東でアメリカ軍に対する脅威が高まっていることを受けた予防的な措置として、中東地域におよそ3000人のアメリカ軍の兵士を新たに派遣することを明らかにしました。

国防総省によりますと、派遣されるのはアメリカ南部、ノースカロライナ州を拠点とする陸軍第82空挺師団の即応部隊で、中東のクウェートに展開するという事です。

一方、トランプ大統領は南部フロリダ州で演説し、「われわれは昨夜、戦争を止めるために行動を起こした。戦争を始めるために行動を起こしたのではない」と述べ、イランとの戦争は望まないという考えを改めて示しました。

また、ホワイトハウスで安全保障政策を担当するオブライエン大統領補佐官は電話での記者への説明の中で、「イランが事態をエスカレートさせることを選択すれば非常に貧しい決定だ。それに代わる道筋は核開発をやめ、普通の国のようにふるまい、アメリカとの交渉のテーブルにつくことだ」と述べ、イランが報復措置をとらないようくぎを刺すとともに、アメリカとの交渉のテーブルにつくよう呼びかけました。

ただ、イランは報復措置に踏み切る構えで緊張の高まりは避けられない情勢です。

サッカー米男子代表 中東ドーハでのキャンプ延期

アメリカサッカー連盟は3日、アメリカとイランの間で緊張が高まっていることを受けて、中東カタールの首都ドーハで予定されていた男子の代表チームのキャンプを延期すると発表しました。キャンプは今月5日から25日まで予定されていましたが、連盟は「当該地域で問題が起きている」として延期を決めたということです。

カタールでは再来年にサッカーワールドカップが開催されることになっていて、連盟は「近い将来、カタールでプレーする機会を見つきたい」としています。

しんぶん赤旗 2020年1月5日(日)

米のイラン司令官殺害 戦争の道に懸念の声 イランが軍事報復警告 イラクも侵略と米批判

【カイロ＝秋山豊】イランのラバンチ国連大使は3日、米CNNテレビとのインタビューで、米国の空爆による革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官殺害について、「軍事行動への対応は軍事行動だ」などと述べ、軍事的報復を警告しました。

ラバンチ氏はこの日、グテレス国連事務総長と国連安保理議長あての書簡で、イランは国際法のもとで自衛権を有しているとも述べました。

ロイター通信によると、イランのロウハニ大統領は3日、「間違いなく、イランは彼(ソレイマニ氏)の復讐を行う」と述べました。イランメディアによると、国防と外交を統括する最高安全保障委員会(SNSC)も「犯罪者らは、ふさわしい時と場所で最も強い報復に直面するだろう」との声明を出しました。

この日、首都テヘランや司令官の故郷ケルマンなど各地で追悼集会と、米国への抗議デモが起きました。参加者は、司令官の

写真や、「米国に死を」と書いたプラカードなどを持って、殺害に対する怒りを示しました。

米国がイラクの首都バグダッドで実施した空爆では、同司令官とともに、イラクの民兵組織「カタイブ・ヒズボラ」の指導者も殺害されました。

イラクメディアによると、イラクの国家安全保障会議は声明を発表し、「イラクの主権の侵害を非難し、米軍が駐留する条件と任務に反する侵略を拒否する」と表明しました。

国営シリア・アラブ通信によると、シリア外務省筋は「裏切りの攻撃」と非難し、イラン、イラク両国への連帯を表明しました。

ロイター通信によると、イランを後ろ盾とするレバノンの民兵組織ヒズボラと、パレスチナのイスラム組織ハマスも「大罪」などと批判しています。

トランプ氏「戦争を止めるため行動」 イラン司令官殺害は自衛目的と強調

毎日新聞 2020年1月4日 10時42分(最終更新 1月4日 10時42分)



イランのソレイマニ司令官殺害につ

いて話すトランプ米大統領＝米南部フロリダ州で3日、ロイター共同

トランプ米大統領は3日、イラン革命防衛隊の精鋭「コッズ部隊」を率いるソレイマニ司令官の殺害について「戦争を止めるため行動を取った」と述べ、軍事作戦の正当性を強調した。「イランの人々に深い敬意を持っている。政権転覆は求めている」と緊張の激化を望まない考えを示す一方で、「米国民への脅威には必要ないかなる措置も取る」と述べ、イランの報復をけん制した。

複数の米メディアは3日、米当局者の話として、米軍が中東地域に部隊3000～3500人を増派すると報じた。緊急即応を担う陸軍の空挺(くうてい)師団が主となる見通し。米軍は昨年末、イラク・バグダッドの米大使館前での大規模デモを受けて、中東地域への約750人増派を発表したばかり。

トランプ氏は、静養先の南部フロリダ州の別荘で記者団を前に声明を読み上げた。バグダッドで米軍の無人機攻撃により殺害されたソレイマニ氏について「過去20年にわたり、地域を不安定化させるテロ行為を犯してきた」と主張。司令官が「米国に対する邪悪で差し迫った攻撃」を企図していることを察知したため、抹殺したと説明した。

トランプ氏はその後の支持者集会での演説でも軍事作戦に触れ「あなたたちは何が起きているか知らなかっただろうが、米国に対する大規模攻撃が計画されていた」と述べ、攻撃は自衛目的だったことを強調した。【ワシントン高本耕太】

国防総省「防衛的な行動」と説明 米、イラン司令官殺害

毎日新聞 2020年1月3日 18時52分(最終更新 1月5日 17時50分)



イラン革命防衛隊「コズ部隊」の

スレイマニ司令官=AP

米国防総省は2日夜（日本時間3日午前）、イラン革命防衛隊の精鋭「コズ部隊」のスレイマニ司令官を軍事作戦により殺害したと発表した。トランプ大統領の指示によるもので、海外に派遣されている米国人を守るための「防衛的な行動」と説明した。一方、イランの最高指導者ハメネイ師は米国への報復を示唆。米国とイランの緊張がさらに高まるのは確実だ。



米紙ニューヨーク・タイムズによると、スレイマニ氏らは数人の仲間とイラクのバグダッド国際空港から車で移動してまもなく、米軍の無人機による爆撃で殺害された。米軍の特殊作戦軍が指揮を執り、2台の車両を破壊。イラクのイスラム教シーア派組織「神の党旅団（カタイブ・ヒズボラ）」の指導者アブ・マフディ・アルムハンディス容疑者も死亡した。

国防総省は声明で、スレイマニ氏は「イラクやこの地域全域で米国の外交官や軍人に対する攻撃計画の立案に積極的に関わっていた」と指摘。エスパー米国防長官は2日、記者団に「米軍や米国人を守るためには先制的な行動を取る」と警告していた。

一方、ハメネイ師は3日、ツイッターで「血で手を汚した犯罪者には厳しい報復が待っている」と表明した。

スレイマニ氏が指揮していたイラン革命防衛隊傘下のコズ部隊は、シリアやイエメン、イラク、レバノンなど中東各地で親イランのイスラム教シーア派勢力を支援。カタイブ・ヒズボラもその一つだ。米政府は、コズ部隊がこの地域での米軍人の殺害に関わってきたとみている。イラン革命防衛隊は米政府により国際テロ組織に指定されている。

米軍は12月29日、駐留米軍に対する攻撃への報復措置として、カタイブ・ヒズボラのイラクとシリアの拠点5カ所を空爆。これに抗議したシーア派支持者らが在イラク米大使館を襲撃するなど緊張が高まっていた。【ワシントン古本陽荘】

対イラン、国際法に従い行動 米国防長官

時事通信 2020年01月06日01時13分

【ワシントン時事】ポンペオ米国防長官は5日放映の米CNNテレビのインタビューで、イランから報復攻撃を受けた場合の対応について「国際法に従って米国民を守る」と強調した。トランプ大統領が4日のツイートで示唆したイランの文化施設への攻撃に関しては「われわれは法の支配に従って行動する。トランプ

氏のツイートはそこから逸脱していない」と述べるにとどめた。

イランが報復なら米側も攻撃警告、標的52カ所の理由は「41年前の事件」

読売新聞 2020/01/05 11:30

【ワシントン=蒔田一彦】米国のトランプ大統領は4日、イランが米国人や米国の資産を攻撃した場合、「イランにとって重要な52カ所を標的として、すぐに激しく攻撃する」とツイッターに書き込み、イランを強く警告した。イランは、米軍の空爆によるイラン革命防衛隊のスレイマニ司令官の殺害に対し、報復を辞さない構えを示している。

トランプ氏のツイッターによると、標的の数が52カ所なのは、1979年に起きた在テヘラン米大使館占拠事件で人質になった米国人の数を表しているという。

トランプ氏「最新鋭の軍事装備品を投入」…イランが攻撃の場合

読売新聞 2020/01/05 20:53

【ワシントン=横堀裕也、カイロ=酒井圭吾】米国のトランプ大統領は4日、イランが米国人や米国の資産を攻撃した場合には「イランにとって非常に重要な52カ所の標的を即座に激しく攻撃する」とツイッターへの投稿で強く警告した。米軍がイラン革命防衛隊の精鋭部隊「コズ部隊」のスレイマニ司令官を殺害したことに対し、イラン側が報復を予告していることを踏まえたものだ。

52カ所という標的の数は、1979年の在テヘラン米大使館占拠事件で人質になった米国人の数と同じにしたという。「イランやイランの文化にとって極めて高位で重要なもの」が含まれているとしている。

トランプ氏は「最新鋭の軍事装備品をちゅうちょせず投入することになる」とも書き込み、イラン側の行動を強くけん制した。

司令官殺害の舞台となった隣国イラクの治安当局によると、4日夜には、米大使館がある首都バグダッドの旧米軍管理区域（グリーンゾーン）や、米軍が使用するバラド空軍基地などにロケット弾計4発が撃ち込まれた。イランに近いイスラム教シーア派民兵組織の関与が疑われている。

ポンペオ米国防長官は4日、同盟国のサウジアラビアやイスラエル、バーレーンなどの首脳や閣僚と相次いで電話会談し、イラン情勢を協議した。イラン側もカタールやトルコなどの友好国と電話で協議した。一方、ロシアと中国は米国を非難し、イラン擁護の姿勢を明確にした。

米国防長官、相次ぎ電話会談 イラン司令官殺害巡り

2020/1/5 09:34 (JST)共同通信社

【ワシントン共同】ポンペオ米国防長官は4日、米軍によるイラン革命防衛隊の精鋭「コズ部隊」のソレイマニ司令官らの殺害などを巡り、イスラエルのネタニヤフ首相、バーレーンのサルマン皇太子、トルコのチャプシオール外相と相次いで電話会談した。国務省が発表した。

イランが地域を不安定化させているとして対抗していくことの重要性を強調するなどした上で、米国の国益、国民、施設や友好国を守る決意を示したという。

トランプ大統領 イランめぐり英仏首脳と電話会談

NHK2020年1月6日 7時22分



アメリカがイランの精鋭部隊のソレイマニ司令官を殺害したことをめぐって、アメリカのトランプ大統領は5日、フランスのマクロン大統領やイギリスのジョンソン首相と相次いで電話で会談しました。

フランスの大統領府によりますと、トランプ大統領との電話会談でマクロン大統領は、中東地域の緊張が高まる中、同盟国としてアメリカとの連帯を表明したということです。

そして、報復に出る構えのイランについて、不安定な状況をさらに悪化させかねず、イランは自制する必要があるという考えを示したということです。

イギリスのジョンソン首相もトランプ大統領をはじめとする欧米諸国の首脳と電話で会談したうえで、声明を発表しました。この中で、「ソレイマニ司令官が中心的な役割を果たした攻撃により、多くの市民や欧米諸国の関係者が犠牲になったことを考えると、司令官が死亡したことを悼むことはできない」として、アメリカによる攻撃に理解を示しました。

そのうえで、報復は地域における暴力をさらにあおるだけだとし、すべての当事者に自制を求めました。

イスラエル首相「全面的に支援」

イスラエルはイランがソレイマニ司令官の殺害への報復としてアメリカの同盟国イスラエルを攻撃すると警告していることに神経をとがらせています。

ネタニヤフ首相は5日、閣議で「ソレイマニ司令官は中東各地でテロ計画を立案し実行してきた。今回、トランプ大統領が漸固たる行動を取ってくれたことに感謝し、全面的に支援する」と述べました。

一方でネタニヤフ首相は、ふだんは強調しているイランへの強硬姿勢は一切口にしせず、関係関係者や与党議員にはこの問題でかん口令を敷いています。

イラン側の挑発に乗るような姿勢を見せれば、イランやイランが支援する周辺の武装組織による攻撃を招きかねないと神経をとがらせていることがうかがえます。

米軍、イラン司令官を殺害 ハメネイ師は報復示唆

日経新聞 2020/1/3 12:46 (2020/1/3 22:16 更新)



トランプ米政権はイランのソレイマニ司令官を敵視してきた=ロイター

【ワシントン=中村亮】

米国防総省は2日、敵対するイラン革命防衛隊の精鋭組織「コッズ部隊」のカセム・ソレイマニ司令官を空爆で殺害したと発表した。トランプ大統領の指示を受けた措置

で「海外の米国人を守るためだ」と説明した。イラン国内で英雄視されるソレイマニ氏の殺害を受け、最高指導者ハメネイ師は3日、ツイッターで米国への報復攻撃を警告した。中東での米イランの緊張がさらに高まれば、世界の原油の安定供給にとってもリスクになりそうだ。

国営イラン放送やロイター通信によると、ソレイマニ氏はイラクの首都バグダッドの国際空港で現地時間の3日未明、同氏の車列に対する米軍の攻撃により殺害された。同氏は親イラン勢力の支援のためにバグダッド入りしていたとみられる。イラクのイスラム教シーア派組織「カタイブ・ヒズボラ」の指導者であるアブ・マフディ・アルムハンディス氏も死亡した。



殺害されたソレイマニ司令官=AP

トランプ氏は3日、ツイッターで「ソレイマニ司令官が多くの米国人の殺害を計画していた」と攻撃の理由を説明。「彼はずっと前に殺害されるべきだった」とも述べ、政権の成果を誇った。一方で「イランは戦争に勝ったことはないが、交渉で負けたことはない」と指摘した。米国を標的にした攻撃の停止を促すとともに、非核化などに関する交渉に応じるよう求めたものだ。

米国防総省は先月末に起こったイラクの米大使館襲撃もソレイマニ氏が承認していたと指摘。米務省によるとイラクでは2019年秋以降に駐留米軍などを標的にした攻撃が10回以上あったが、これらにも同氏が関与していたという。

ソレイマニ氏が率いてきたコッズ部隊はイランの最高指導者であるハメネイ師の直属組織、革命防衛隊の中核を占め、イランの対外工作を担ってきた。米国はソレイマニ氏がイランの中東での影響力拡大において中心的役割を担ってきたとみなし、制裁対象に指定してきた。カリスマ的な指導力で知られた同氏の殺害は、イラン指導部にとって大きな打撃となる。

トランプ政権はイランに圧力をかけながら、非核化に向けた対話も模索してきたが、今回の攻撃は強硬路線への傾斜を内外に強く印象づけた。トランプ氏は19年6月に米国の無人機が撃墜された際に報復措置であるイランへの空爆を直前で中止。9月に起きたサウジアラビアの石油施設への攻撃もイランが関与したと断定したが、同国に対する軍事攻撃は見送っていた。

ソレイマニ氏の殺害を受けて、イラン指導部は米国に対する報復措置をとる構えをみせている。ハメネイ師は3日、ツイッターで「手を血で汚した犯罪者を待っているのは厳しい報復だ」と宣言した。ロウハニ大統領も「イランは必ず復讐（ふくしゅう）を行う」とする声明を出した。

米務省は3日、イランからの報復攻撃を回避するため、イラク滞在中の米国人に対して国外退避を勧告した。

イランや同国傘下の武装組織の攻撃で米国民の死傷者がさらに出れば、中東情勢がさらに緊迫するのは避けられない。AFP通信によるとイラクのアブドルマハディ首相は今回の攻撃について「イラクでの破滅的な戦争の口火を切ることになる」と懸念を示

した。
日本政府は昨年12月27日に民間船舶の安全確保を目的に、自衛隊の中東派遣を閣議決定した。米国主導の有志連合「センチネル（番人）作戦」への参加は見送った。

米、イランの52カ所攻撃と警告 イランも「軍事的報復」を明言

2020/1/5 22:39 (JST) 共同通信社



米軍に殺害された「コッズ部隊」のソレイマニ司令官のひつぎを運ぶ人々＝5日、イラン南西部アフズ（ファルス通信/WANA提供、ロイター＝共同）

【ワシントン、テヘラン共同】トランプ米大統領は4日、イランが革命防衛隊の精鋭「コッズ部隊」のソレイマニ司令官殺害を受け、米国に報復した場合、イランの重要施設など52カ所を標的として「大きな打撃を与える」と警告した。革命防衛隊のデフガン司令官は5日、報復について「軍事施設に対する軍事的な対応になる」と明言した。軍事行動を警告し合う展開となり、緊張がさらに高まった。

イランは報復の具体案を詰めると同時に、イランの核開発を制限する「核合意」を巡っても強硬策を準備しているようで、6日にも合意に関する立場を表明する方針。



4日、イランの首都テヘランで開かれた、ソレイマニ司令官殺害に抗議する反米集会で嘆く女性（ゲッティ＝共同）

イラン、緊張激化に不安広がる 「戦争は嫌だ」市民の願い切実に

2020/1/5 15:14 (JST) 1/5 17:47 (JST) updated 共同通信社



イラン・テヘランに設置された米軍に殺害されたソレイマニ司令官の看板（奥）＝4日（共同）

【テヘラン共同】イラン革命防衛隊の精鋭部隊のソレイマニ司令官が米軍の空爆で殺害されたことを受け、イランの市民の間では両国の対立激化が紛争に発展するのではないかと不安が広がっている。「戦争は嫌だ」。家族を、友人を、暮らしを守りたいとの願いは切実さを増している。

首都テヘランの主婦マンスレさん（64）は1980～88年のイラン・イラク戦争を体験、貧困の中で辛酸をなめた。「私は戦争が何をもたらすのかよく分かっている。大災難だ。何としても回避してほしい」と訴えた。

テヘラン市内では至る所にソレイマニ氏の肖像や追悼の黒い旗が掲げられ、沈鬱な雰囲気包まれている。

トランプ氏、説得受け計画承認 イラン司令官殺害、米紙報道

2020/1/4 19:28 (JST) 共同通信社

【ワシントン共同】米国によるイラン革命防衛隊の「コッズ部隊」のソレイマニ司令官の殺害について、ワシントン・ポスト紙は3日、トランプ大統領が高官らからイランに対し行動に出るよう説得を受け計画を承認したと伝えた。複数の米当局者の話としている。

トランプ氏は昨年12月29日、フロリダ州の別荘でエスパー国防長官ら安全保障問題担当の高官らと殺害計画を議論。高官らは、数日間行方を追跡していたソレイマニ氏がバグダッドを訪れる予定になったと報告した。

高官らは、イランに対して行動しなければ「イランは何をしてもいいと考えるようになる」などと主張した。

米イランの緊張、沸点に 報復必至、打開策なく

時事通信 2020年01月05日06時59分



3日、米フロリダ州パームビーチで、イランのソレイマニ司令官殺害についてコメントするトランプ大統領（AFP時事）

【ワシントン時事】イラン革命防衛隊コッズ部隊司令官の殺害で、トランプ米政権誕生からじわじわと高まっていた米国とイランの緊張は一気に沸点に達した。米国は「差し迫った脅威に対する自衛手段」と主張。だが、他国の軍幹部を殺害した影響は大きく、報復は避けられない。トランプ政権の一時的な核合意離脱に端を発する米イラン関係の悪化は、落ともしどころが見えないまま、負のスパイラルに陥っている。

「戦争を始めるのではなく、戦争を止めるための行動だ」。トランプ氏は3日、滞在先のフロリダ州からのテレビ演説でこう強調し、イランとの戦争は望まない姿勢を示した。

だが、イラン国内外で影響力を持つソレイマニ司令官殺害がもたらす波紋は甚大だ。米ブルッキングス研究所のダニエル・バイマン上級研究員は「現状を一変させる行動だ」と指摘。中東研究所のチャールズ・リスター上級研究員も「緊張を大幅に激化させた」と同意する。



3日、テヘランで、イラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官の遺族を抱擁する最高指導者ハメネイ師（AFP時事）

イランの最高指導者ハメネイ師が「厳しい報復」を宣言する中、米国内では警戒感が広がる。リスター氏は「ソレイマニ司令官が死んだことで、戦争が起きるのは確実とみられる。問題はいつ、どこで、どのような形で起きるかだ」と警告する。

イランがウラン濃縮活動を拡大する可能性も高い。ブルッキングス研究所のスーザン・マロニー上級研究員は「短期的には（核施設の）監視カメラを停止したり、査察官を追放したりすると懸念している」と語る。

トランプ政権は2015年のイラン核合意に代わる合意締結を要求し、対イラン制裁を強化した。緊張が高まる中、昨年には「前提条件なしの対話に応じる用意がある」と呼び掛けた。だが、態度を硬化させるイラン指導部との間に対話は実現せず、緊張緩和や核開発停止は見通せないままだ。

次期大統領選の民主党候補者争いで支持率トップを走るバイデン前副大統領は2日、声明で「この政権には規律や長期的ビジョンが欠如している」と批判。ソレイマニ司令官殺害について、「自らが選択した道がもたらす第2、第3の結果について、政権が十分に考えたものと期待したい」と皮肉交じりに述べた。

米、中東に3500人増派 イラクで新たな空爆か—イラン司令官殺害

時事通信 2020年01月04日 18時20分



3日、米フロリダ州パームビーチで、イランのソレイマニ司令官殺害についてコメントするトランプ大統領（AFP時事）

【ワシントン時事】米国防総省当局者は3日、中東地域に約3500人の部隊を増派する方針を明らかにした。イラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官が米軍の空爆で殺害され、イランが報復を警告しているのを受けた措置。ワシントン・ポスト（電子版）など米メディアが伝えた。

米政府は昨年12月末、イラクの首都バグダッドにある米大使館前での大規模デモを受け、中東地域に約750人の増派を発表したばかり。追加増派で緊張が一層高まるのは必至だ。

イラク国営テレビは4日、米軍がバグダッド近郊で新たな空爆を行ったと報じた。イラク軍関係者はロイター通信に6人が死亡したと指摘。標的はイラクのシーア派武装勢力の連合体「人民動員隊」傘下の組織だったと語ったが、空爆を否定する情報もあり信ぴょう性は不明。



在イラク米大使館の入り口に殺到する、イスラム教シーア派のデモ隊=2019年12月31日、バグダッド（EPA時事）

トランプ大統領は3日、滞在先のフロリダ州で、ソレイマニ司令官が米国の外交官らを狙った「差し迫った悪意ある攻撃」を企

ていたと主張。「米国は戦争を始めるためではなく、戦争を食い止めるために行動した」と殺害を正当化した。

オブライエン大統領補佐官（国家安全保障担当）は3日の電話記者会見で「トランプ大統領は引き続き平和的な事態解決を目指している」と説明。「一層の緊迫化の道を選んでも、イランの国民や政権は何も得られない」とけん制した。

ポンペオ国務長官は3日、英国、フランス、ロシアなどの外相のほか、サウジアラビアのムハンマド皇太子、中国の楊潔※（※竹カンムリに褌のツクリ）共産党政治局員らと相次ぎ電話で会談し、司令官殺害について説明した。イラクで米国への反発が高まっていることから、イラクのサレハ大統領とも電話会談し、事態沈静化に取り組む考えを伝えた。

一方、イランのラバンチ国連大使は3日、CNNテレビとのインタビューで「軍事行動に対する対応は軍事行動だ」と述べ、軍事的報復を警告した。

米軍、中東に3千人増派へ イランは「報復」警告

2020/1/4 06:24 (JST)共同通信社



記者団にイラン司令官殺害の正当性を語るトランプ米大統領（ロイター=共同）

【ワシントン、テヘラン共同】米主要メディアは3日、イラン革命防衛隊の精鋭部隊司令官を米軍が殺害し、緊張が高まったのを受け中東に米兵約3千人を増派すると報じた。一方でイランは「厳しい報復」を警告した。米側では中東でイランが報復措置に踏み切る恐れがあるとの見方が出ている。

トランプ氏は3日、南部フロリダ州で記者団に、司令官が「過去20年間、中東でテロを実行してきた」と指摘、殺害は「戦争を防ぐため」の自衛措置だったと強調した。報復警告に対しては「必要な行動は何でも取る用意がある」とけん制した。

増派されるのは陸軍空挺部隊でクウェートに展開する見通し。

イラン司令官殺害で論調割れる 「慎重でない」「自衛行動」—米主要紙

時事通信 2020年01月05日 06時42分

【ニューヨーク時事】米軍によるイラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官殺害をめぐる、米主要紙の論調は大きく割れた。4日付のニューヨーク・タイムズ（NYT）紙は「真の問題は、正当化されるかではなく賢明だったかだ」と論じ、トランプ政権の判断を批判する社説を掲載。ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）紙は、太平洋戦争で敵対した旧日本海軍の山本五十六連合艦隊司令官の搭乗機撃墜になぞらえ、敵将を標的とした攻撃の正当性を主張した。

NYTは、国民に人気のある司令官を殺害することで、報復が確実になったと懸念を表明。「地域の調節つまみを突然、沸騰へとひねる前に、なぜもっと慎重で抑制的な手段を講じなかったのか」とトランプ政権に説明を求めた。

一方、WSJは、米軍に対する攻撃阻止のための自衛行動であ

り、これまでの多数の米国人殺害に対する「裁きが行われた」と評価。軍力を示すことでテロを阻止できると訴えた。また、トランプ政権への批判について、大統領がトランプ氏でなかったとしても同様な声が出るのか疑問だと指摘した。

イラン側が報復か…イラクの米大使館付近、ロケット弾など数発

AFP通信はイラクの首都バグダッドの米大使館付近や米軍使用の基地に4日、ロケット弾など数発が打ち込まれたと報じた。スレイマニ司令官の殺害に対する、イラン側の報復の可能性がある。

イラン、米軍への報復予告「厳しい仕打ちが待ち受けている」

読売新聞 2020/01/03 14:32

【テヘラン＝水野翔太】イランの最高指導者ハメネイ師は3日、イラクで精鋭軍事組織・革命防衛隊の「コッズ部隊」のソレイマニ司令官が米軍の空爆で殺害されたことを受け、「ソレイマニの血に手が染まった犯罪者らには、厳しい仕打ちが待ち受けている」との声明を発表し、米側への報復を予告した。ソレイマニ氏の死亡を受け、イラン全土が3日間喪に服することも発表した。

「軍事行動には軍事行動」 イラン国連大使が警告

時事通信 2020年01月04日12時31分

【ニューヨーク時事】イランのラバンチ国連大使は3日、CNNテレビとのインタビューで、イラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官殺害について、「軍事行動に対する対応は軍事行動だ」と述べ、軍事的報復を警告した。詳細は説明していない。

ラバンチ氏は、米国がイラン核合意離脱を表明した2018年以降、対イラン経済制裁の再発動により「経済戦争」を始めた」と指摘。「昨夜、彼らは軍事的戦争を始めた」と訴えた。「新たな段階だ。(殺害は)イランに対する開戦に等しい」とも語った。

ラバンチ氏は3日、グテレス国連事務総長と国連安保理議長宛ての書簡で、司令官殺害を「国家テロ」と批判。「特に自衛権行使を含め国際法の下で必要な措置を取るあらゆる権利をイランは保有する」と強調した。

イラン対米報復、核開発拡大へ 代理攻撃や暗殺、軍事力行使も

2020/1/5 00:32 (JST)共同通信社



トランプ米大統領 (AP＝共同)、イランの最高指導者ハメネイ師 (ゲッティ＝共同)

【テヘラン共同】イランは革命防衛隊の精鋭「コッズ部隊」のソレイマニ司令官殺害を受け、3日、米国への報復を警告した。核合意を段階的に逸脱するイランは6日にも第5弾の措置に踏み切る構えで、これまで以上に挑発的な対抗策となる恐れがある。核開発拡大に加え、革命防衛隊は代理勢力を使った駐留米軍への軍事的圧迫や米軍高官らの暗殺、近隣諸国の石油施設攻撃など軍事力行使の選択肢の精査に入った。

トランプ米大統領の指示による司令官殺害に対し、イランも最高指導者ハメネイ師が報復の決意を表明した。外交的解決の道は

狭まり、軍事的緊張が高まっている。

イラン紙、殺害の司令官追悼一色 「強力な報復」と見出し

2020/1/4 20:36 (JST)共同通信社



ソレイマニ司令官の殺害を1面で大きく報じるイラン各紙＝4日(共同)

【テヘラン共同】米軍によるイラン革命防衛隊の精鋭「コッズ部隊」のソレイマニ司令官殺害を受け、4日付のイラン各紙は司令官の写真やイラストを1面トップに据えて「英雄」に追悼の意を表明した。「強力な報復が行われる」(保守系紙ケイハン)、「彼の死は信じられない」(改革派紙エテマド)といった大見出しが掲げられた。

首都テヘランでは、司令官の肖像画や写真が大通りの橋や政府関連施設など随所に掲げられ、「厳しい報復が待ち受けている」などのスローガンが大書された。

殺害が実行されたイラクの首都バグダッドでは4日、追悼式典が開かれた。

ヒズボラ、対米報復を警告 レバノン、イエメンでも

2020/1/3 23:30 (JST)共同通信社



祈りをささげるソレイマニ司令官＝2015年3月27日、イラン首都テヘラン(最高指導者事務所提供、AP＝共同)

【バイルート共同】レバノンのイスラム教シーア派民兵組織ヒズボラの指導者ナスララ師は3日、米軍がイラン革命防衛隊「コッズ部隊」のソレイマニ司令官を殺害したことを非難する声明を発表した。「世界で最も邪悪な殺人者への報復は、義務であり責任だ」とし、各地の「イスラム戦士と抵抗戦士」による報復を警告した。

イエメンに拠点を置く親イラン武装組織「フーシ派」も司令官殺害の非難声明を発表し「素早い、直接の反応が解決策だ」と述べ、報復を示唆した。

イランの影響を強く受けるヒズボラは、レバノンに拠点を置き、シリア内戦でアサド政権を軍事支援している。

米軍、イラン有力司令官殺害 トランプ氏指示、イラク空爆―ハメネイ師「厳しい報復」

時事通信 2020年01月03日23時49分



イラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官＝

テヘラン、イラン最高指導者事務所が2019年10月提供 (AFP時事)

【ワシントン時事】米国防総省は2日夜、トランプ大統領による指示で、イラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官を殺害したと発表した。ロイター通信によると、米軍はイラクの首都バグダッドで空爆を実施。ソレイマニ司令官とイラクのイスラム教シーア派組織「カタイブ・ヒズボラ (KH)」の指導者アブ・マフディ・アルムハンディス容疑者が死亡した。

ソレイマニ司令官が率いるコッズ部隊はイラン革命防衛隊で対外工作を担う。KHもイラン革命防衛隊の支援を受けている。米軍がソレイマニ司令官らを殺害したことで、米イラン間の対立が一層激化する恐れがある。在イラク米大使館は3日、イラクに滞在している米国民に空路や陸路で直ちに出国するよう呼び掛けた。



イラクのイスラム教シーア派組織「カタイブ・ヒズボラ」の指導者アブ・マフディ・アルムハンディス容疑者=2019年12月、バグダッド (AFP時事)

AFP通信によると、イラン革命防衛隊も声明を出し、バグダッドの空港で現地時間の3日午前、米国による攻撃によりソレイマニ司令官が死亡したと発表。イラクのシーア派武装勢力の連合体「人民動員隊」の報道官は、空港で車列を標的にした空爆があったと指摘した。

ソレイマニ司令官殺害を受け、イランの最高指導者ハメネイ師は3日、ツイッターに投稿し、米国を念頭に「手を血で汚した犯罪者を待っているのは厳しい報復だ」と宣言。イラン全土が3日間喪に服すと発表した。イランのザリフ外相もツイッターで「極めて危険で愚かな緊張の拡大だ」と非難した。



3日、米軍の攻撃によりイランのソレイマニ司令官らが殺害されたバグダッドの空港で、燃えている車=イラク軍が同日公表 (AFP時事)

AFP通信によると、イラクのアブドルマハディ首相は今回の空爆について、駐イラク米軍の地位協定の「重大な違反」だとし、「イラクでの破滅的な戦争の口火を切ることになる」と警告。人民動員隊の司令官は、全戦闘員に戦闘準備を指示した。

トランプ米大統領は3日、ツイッターに「ソレイマニ司令官は多数の米国人殺害をたくらんでいた」と投稿し、殺害を正当化した。米国防総省は声明で、「米軍は大統領の命令で、海外展開する人員を守るために決定的な自衛行動を取った」と表明。作戦内容の詳細は明かさなかったが、「イランの今後の攻撃計画を抑止することが目的だった」と説明した。

米軍は先月末、KHが駐留米軍基地を攻撃したとして、イラクとシリアにある拠点5カ所を空爆した。イラクでは少なくとも戦闘員25人が死亡したとされ、在イラク米大使館前で大規模反米デモが起きるなど緊張が高まっていた。

エスパー国防長官は2日、国防総省で記者団に、イランと親イラン派がさらなる攻撃を計画している兆候があると述べ、自衛のためには先制攻撃も辞さないと警告していた。

米、イラン精鋭司令官を殺害 トランプ氏が指示、ヘリで攻撃
2020/1/3 15:29 (JST)1/3 17:30 (JST)updated 共同通信社



「コッズ部隊」のソレイマニ司令官 (AP=共同)

【ワシントン、テヘラン共同】米国防総省は2日夜、トランプ大統領の指示を受け、イラン革命防衛隊の精鋭「コッズ部隊」のソレイマニ司令官を殺害したと発表した。国営イラン放送も、イラクの首都バグダッドの国際空港で米国のヘリコプター攻撃により殺害されたと確認。イラン側の報復は必至で、中東情勢がさらに緊迫化する恐れがある。

コッズ部隊はイランの対外工作を取り仕切る重要組織で、ソレイマニ氏は反米保守強硬派の代表格として知られていた。イランの最高指導者ハメネイ師は3日、「血で手を汚した犯罪者は、重大な報復を受けるだろう」と米国に警告する声明を発表した。



3日、イラクの首都バグダッドの国際空港で、攻撃を受けて炎上する車両 (イラク首相府提供、AP=共同)

精密誘導弾でイラン司令官ら殺害 米当局者

時事通信 2020年01月03日 22時21分

【バグダッドAFP時事】米国防当局者は3日、イラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官らの殺害について、ドローン(無人機)と精密誘導弾を使ったと語った。「バグダッドの空港にいた2台の車が標的だった」と述べた。

トランプ氏 司令官殺害「戦争止めるため」

NNN2020年1月4日 10:39

アメリカのトランプ大統領は3日、イラン革命防衛隊の司令官を殺害したことについて、「戦争を始めるためではなく、止めるための措置だった」と主張した。

トランプ大統領「アメリカ軍は精密な攻撃を成功させ、ソレイマニ司令官という世界で一番のテロリストを殺害した。我々は戦争を止めるために行動した。戦争を始めるためではない」

トランプ大統領は、死亡したソレイマニ司令官を「テロリスト」と非難し、アメリカ人への「差し迫った邪悪な攻撃を画策してい

た」と指摘した。一方で、「我々はイランの政権交代は望んでいない」としている。

また、ポンペオ國務長官は3日、イギリスやフランスなど各国の外相や、イラクの大統領らと相次いで電話会談を行い、攻撃は「自衛のための行動」だったと理解を求めた。

イランの最高指導者が報復を予告する中、アメリカ国防総省の当局者は3日、NNNの取材に対し、中東・クウェートにアメリカ軍3500人を増派すると明らかにしている。今後、地域の緊張が一層、高まることが懸念される。

イラン精鋭部隊司令官殺害 トランプ大統領「戦争防ぐため」



FNN2020年1月4日 土曜 午後5:55

アメリカのトランプ大統領は、アメリカ軍がイランの精鋭部隊司令官を殺害したことについて、「戦争を防ぐため」の自衛的措置だったと主張した。

トランプ大統領は、3日、「われわれは昨夜、戦争を止めるための行動をとった。戦争を始めるための行動ではない」と述べ、アメリカ軍がイラン革命防衛隊のソレイマニ司令官を攻撃し殺害したのは、自衛的措置だったと主張した。

またトランプ大統領は、「ソレイマニ司令官がアメリカの外交官らに対する攻撃を計画していた」などと殺害の理由を説明した。さらに、トランプ大統領は、「必要な行動は何でもとる用意がある」と述べ、イランをけん制した。

一方、イランのラバンチ国連大使は、グテーレス事務総長に宛てた書簡で、ソレイマニ司令官殺害を「国家によるテロ」と非難した。

そのうえで、「自衛権の行使など、必要な措置をとる国際法上の権利がある」と主張し、イランとして報復することをあらためて警告した。

こうした中、アメリカメディアは、アメリカ軍が中東におよそ3,000人の兵士を新たに派遣すると伝えていて、緊張がさらに高まるのは避けられない情勢。

米軍、また空爆 イラク

時事通信 2020年01月04日 10時16分

ロイター通信によると、イラク国营テレビは4日、米軍がバグダッド近郊で新たな空爆を行ったと伝えた。イラク軍関係者はロイター通信に対し、空爆の標的はイラクのシーア派武装勢力の連合体「人民動員隊」だったと語ったが、国营テレビは「民兵」としか伝えていない。

現場はバグダッド北方約30キロのタジとみられている。軍関係者は6人が死亡し、3人が負傷したと語った。

一方で「人民動員隊」は4日、声明を出し「爆撃されたのは医療班だ」と主張。司令官が狙われたと伝えた一部報道を否定した。

シーア派、イラク米大使館を襲撃 首都バグダッドで、空爆に抗議

2019/12/31 21:47 (JST) 共同通信社



米大使館敷地内の物を壊す人々＝

31日、イラク・バグダッド (AP＝共同)

【イスタンブール共同】米国がイラク国内などのイスラム教シーア派武装組織の拠点を空爆したことを受け、首都バグダッドの米大使館周辺に31日、群衆が集まり、抗議活動を行った。シーア派支持者ら数十人が大使館を襲撃し、施設の一部を破壊した。AP通信などが報じた。

シーア派の支持者らは車で大使館施設の出入り口を破壊、施設内からは煙が上がった。大使館周辺に集まった群衆の多くは民兵の制服姿だった。

米国防総省は29日、武装組織「神の党旅団(カタイブ・ヒズボラ)」のイラクとシリアの拠点到空爆したと発表。この空爆で少なくとも25人の戦闘員が死亡した。

英、自国船舶の護衛を再開へ イラン近海、緊張高まり受け

2020/1/5 13:54 (JST)1/5 14:59 (JST)updated 共同通信社



ホルムズ海峡

【ロンドン共同】米軍によるイラン革命防衛隊精鋭部隊の司令官殺害で、中東での米イランの緊張が高まっていることを受け、英政府は4日、イラン近海のホルムズ海峡を通過する英船籍の船舶の護衛を再開すると発表した。英メディアが伝えた。

英海軍は昨年、イランによる英タンカー拿捕などホルムズ海峡の緊迫化を受け、フリゲート艦による護衛を開始。英紙によると、英タンカーが解放されたことなどから海軍による護衛態勢は約2カ月前に解かれていた。

英海軍 ホルムズ海峡で自国の船舶護衛へ 米イラン緊迫で

NHK1月5日 10時27分



アメリカ軍がイランの精鋭部隊の司令官を殺害し、両国の衝突への懸念が高まる中、イギリス政府はペルシャ湾のホルムズ海峡を航行するイギリスの船舶を海軍が護衛することを決めました。イラン周辺では、アメリカ軍がイランの精鋭部隊、革命防衛隊のソレイマニ司令官を殺害したことを受けて、アメリカとイランによる衝突への懸念が高まっています。

こうした中、イギリスのウォレス国防相は4日、声明を発表し「海軍の艦艇2隻に対し、ペルシャ湾のホルムズ海峡を航行するわれわれの船舶を護衛する準備を進めるよう指示した」として、ホルムズ海峡を航行するイギリス船籍の船舶を海軍が護衛することを明らかにしました。

イギリスは去年の夏、自国のタンカーがイランに拿捕（だほ）され、緊張が高まった際にも海軍の艦艇が船舶の護衛に当たりました。

また、ウォレス国防相はアメリカのエスパー国防長官と3日に意見を交わした際、すべての当事者が事態の鎮静化に努めるよう求めたとしました。

その一方で、イラクに駐留するアメリカ軍はこの数か月間、イランの攻撃を繰り返し受け、その中心を担っていたのがソレイマニ司令官だったとして、「アメリカは自国民を危険にさらす勢力に対し、国際法のもとで自衛する権利がある」として、今回のアメリカによる攻撃に一定の理解を示しました。

イラク、3日間の服喪を宣言 イラン精鋭司令官殺害受け

2020/1/5 10:06 (JST)共同通信社

【カイロ共同】イラクのアブドルマハディ暫定首相は、首都バグダッドの国際空港付近でイラン革命防衛隊の精鋭「コッズ部隊」のソレイマニ司令官らが米軍に殺害されたことを受け、4日からの3日間、国を挙げて喪に服することを宣言した。ロイター通信が伝えた。

バグダッドや、イスラム教シーア派の聖地がある中部のカルバラとナジャフでは4日、ソレイマニ氏らを追悼する式典が開かれ、多数の市民が参加。バグダッドの式典にはアブドルマハディ氏も参加した。

国連総長、新たな湾岸戦争警告 イラン司令官殺害

時事通信 2020年01月04日01時05分



グテレス国連事務総長＝2019年

9月、ニューヨーク（EPA時事）

【ニューヨーク時事】グテレス国連事務総長は3日、イラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官殺害を受けて報道官を通じ声明を出し「新たな湾岸戦争に対応する余裕は今の世界にはない」と警告した。「深い懸念」を表明するとともに「各国指導者は最大限の自制を働かせる時だ」と呼び掛けた。

司令官殺害 専門家や海外はどう見たか

NHK2020年1月3日19時18分



アメリカ国防総省はトランプ大統領の指示で、イランの精鋭部隊、革命防衛隊の司令官への攻撃を実施し、殺害したことを明らかにしました。イランの最高指導者は報復措置を取る考えを示しており、アメリカとイランの衝突につながることへの懸念が高まっています。

イラン情勢に詳しい慶應義塾大学の田中浩一郎教授は「中東にある爆弾の導火線にアメリカが火をつけた格好になった」と分析し、両国の対立は軍事的な衝突の危険がある新たな段階に入ったという見方を示しました。

専門家「中東にある爆弾の導火線に米が火をつけた」

田中教授は殺害されたソレイマニ司令官について「イラン国内では自分たちの国を過激派組織IS＝イスラミックステートやアルカイダなどテロ組織から守ってきた英雄として扱われている。イラン国民から見ると自分たちを守ってきた人をアメリカが殺したことになる」と指摘しました。

そのうえで「アメリカを標的とした反撃に出る可能性は非常に高い。イラン国内でアメリカへの主戦論の声が強くなる」と述べ、イランが軍事的な対抗措置に乗り出す可能性が高いという見方を示しました。

またアメリカが最高指導者ハメネイ師、そして国民からの信頼も厚い実力者の殺害に踏み切ったことについて「このレベルのイランの軍人を直接、殺害するのは初めてだ」として極めて異例な事態だと分析しました。

そのうえで「力で物事を理解させようというトランプ政権の対応そのものがあらわれた。中東にある爆弾の導火線にアメリカが火をつけた格好になった」と述べ、両国の対立は軍事的な衝突の危険がある新たな段階に入ったという見方を示しました。

田中教授は「2020年早々に新たな中東の不安定が拡大していくことになった」として、今回のアメリカによるイランの司令官殺害を機に、今後、中東情勢のさらなる不安定化は避けられないという見通しを示しました。

中国外務省 特にアメリカに自制呼びかける

中国外務省の耿爽報道官は3日の記者会見で、イランの精鋭部隊、革命防衛隊の司令官が攻撃を受けて死亡したことについて質問されたのに対し「中国は国際関係のうえで武力を使用することには一貫して反対してきている。関係各国、特にアメリカには、冷静さを保ち、緊張をこれ以上エスカレートさせないよう促す」と述べ、さらなる衝突につながらないよう、特にアメリカに対して自制を呼びかけました。

ロシア外務省「地域全体の緊張を増大させる」

イランの精鋭部隊、革命防衛隊の司令官がアメリカの攻撃を受けて殺害されたことについて、イランと良好な関係にあるロシアの外務省は、地元の通信社にコメントを発表し「地域全体の緊張を増大させる可能性のある無謀な行為だ」と述べて、アメリカの対応を批判しました。

そのうえで「ソレイマニ司令官はイランの国益を守るために忠実に尽くしてきた。イランの人々に心からお悔やみを申し上げる」としています。

米とイラン 最近の情勢

アメリカとイランの対立は、この1週間で一気に緊迫の度合いを高めました。

きっかけとなったのが先月 27 日のイラクでのアメリカ軍の兵士らに対する攻撃でした。

国防総省によりますとアメリカ軍も展開するイラク北部の基地が 30 発以上のロケット弾で攻撃され、アメリカ国籍の民間人 1 人が死亡し、アメリカ軍の兵士 4 人がけがをしました。

アメリカ軍は 2 日後の 29 日に報復措置に乗り出します。標的としたのが今回、殺害したソレイマニ司令官率いる精鋭部隊「コッズ部隊」と強いつながりを持つとするイスラム教シーア派の武装組織「カタイブ・ヒズボラ」でした。

アメリカ軍はこの武装組織がイランからアメリカ軍主導の有志連合に対する攻撃への支援を受けていたとして、イラクやシリア国内の武器庫や指揮所など 5 つの拠点を空爆しました。

この攻撃に今度はこの武装組織を支持する民兵らが反発し、2 日後の先月 31 日からイラクの首都バグダッドにあるアメリカ大使館の前で激しい抗議デモを仕掛けています。このデモで大使館の窓ガラスが割られ、一時、襲撃も懸念される騒然とした事態に発展し、トランプ大統領は 31 日、ツイッターに「われわれの施設で死者が出たら、イランが全面的に責任を負う。イランは非常に『大きな代償』を支払うだろう。これは警告ではなく脅しだ」と投稿し、イランを強くけん制しました。

さらにエスパー国防長官は 31 日、「バグダッドなどでアメリカ人や施設に対する脅威のレベルが上がっている」として、750 人規模の部隊を直ちに中東地域に派遣すると発表しました。

トランプ大統領は記者団に対し、「今回はベンガジのようなことにはならない」と述べて、2012 年に多くの犠牲者を出したリビアのベンガジにあるアメリカ領事館の襲撃事件に言及し、当時、厳しく批判されたオバマ政権の対応との違いを強調しました。

アメリカ大使館前でのデモは今日 1 日、民兵グループの指導層がデモ隊に引き揚げるよう呼びかけたことで収束しましたが、エスパー国防長官は翌 2 日、記者団に対し「イランやイランが支援する勢力が追加攻撃を計画している可能性を示すいくつかの兆候がある」との見方を明らかにしました。

そのうえで「もし攻撃の通告や何らかの兆候があれば、アメリカ軍や国民の命を守るため先制攻撃をする」と述べて、アメリカ軍の防衛のための先制攻撃も辞さない方針を示していました。

元徴用工で日韓正念場 11月の米大統領選を注視—20年外交展望

時事通信 2020年01月03日07時45分

2020年の日本外交では、戦後最悪とまで言われる日韓関係の行方が焦点だ。元徴用工問題をめぐり、早ければ2月にも被告企業の資産が現金化される可能性がある。11月には米大統領選が控え、トランプ大統領が対日要求を強めるかどうかも注目される。春には中国の習近平国家主席を国賓として迎えるなど、安倍晋三首相は活発な外交を展開する方針だ。

◇資産現金化に強まる懸念

「日韓請求権協定が守られていなければ関係が成り立たない」。首相は先月 29 日放送のBSテレ東の番組で、韓国側に「完全かつ最終的な解決」を明記した請求権協定を順守した対応を取るよう重ねて求めた。

先月 24 日に 1 年 3 カ月ぶりに開かれた日韓首脳会談で、両首

脳は元徴用工問題の対話による解決を確認。しかし、日韓の主張は平行線のままで、2 月とも言われる資産の現金化が行われた場合、日韓対立は決定的となるのは必至。日本政府は対抗措置を講じる構えだ。

韓国国内では、文喜相国会議長が、両国企業などの寄付金で元徴用工に「慰謝料」を支給する法案を国会に提出する動きなども出ている。しかし、日本外務省内からは、4 月に総選挙を控え、「文在寅大統領は反日色の強い支持基盤をにらみ、積極的な対応はできない」との見方が強い。

◇思いやり予算が焦点

11月にはトランプ氏が再選を目指す米大統領選が予定される。在日米軍駐留経費の日本側負担（思いやり予算）を定める特別協定の改定交渉は今夏以降に本格化する。トランプ氏は同盟国の負担増を主張しており、再選に向けた成果として日本にさらなる増額を求める可能性もある。

日中両政府は、今春の習主席来日で調整している。「日中新時代」を目指し、日中共同声明などに続く「第5の政治文書」をまとめられるかが焦点。一方、香港や新疆ウイグル自治区の人権問題や沖縄県・尖閣諸島周辺での中国公船による領海侵入などを受け、日本側では保守層を中心に、習氏の国賓来日には根強い反発がある。

日ロ関係は、平和条約締結交渉の停滞を打開できるかが注目だ。日本側は北方四島での共同経済活動を進展させて、両国間の信頼醸成を図り、領土問題の解決につなげるのが方針。2月にドイツで日ロ外相会談を調整しており、経済交渉を得意とする茂木敏充外相の手腕も問われる。

首相が最重要課題に位置付ける拉致問題は具体的な進展は見られない。首相は無条件での日朝首脳会談を呼び掛けており、米朝の非核化協議の動向などを見据えながら、引き続き模索する考えだ。

東京五輪・パラリンピックに合わせて、各国要人らの来日が見込まれる。政府は「五輪外交」を積極的に繰り広げる方針だ。

◇20年の主な外交日程

- 1月中旬 安倍首相中東歴訪
- 春 習近平中国国家主席が国賓来日
- 4月15日 韓国総選挙
- 27日 核拡散防止条約（NPT）運用検討会議（米・ニューヨーク、5月22日まで）
- 6月10日 先進7カ国首脳会議（G7サミット）（ワシントン近郊、12日まで）
- 7月24日 東京五輪（8月9日まで）
- 8月25日 東京パラリンピック（9月6日まで）
- 9月2日 東方経済フォーラム（ロシア・ウラジオストク、5日まで）
- 11月3日 米大統領選
- 21日 20カ国・地域（G20）首脳会議（リヤド、22日まで）

日韓高官、8日にも北朝鮮協議 GSOMIA 意義を共有

2020/1/3 19:05 (JST)共同通信社



左から北村滋氏、オブライエン氏
(ロイター=共同)、鄭義溶氏

日米韓3カ国は、核実験や大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射実験の中止措置撤回を示唆する北朝鮮への対応を巡り、安全保障担当トップによる高官協議をワシントンで来週8日にも開催する方向で調整に入った。新たな挑発行動に備える狙いがある。昨年11月に失効を回避した日韓軍事情報包括保護協定(GSOMIA=ジョソミア)の意義も共有。今月中旬に予定する日米韓外相会談への調整を進める。関係筋が3日、明らかにした。

協議には、日本の北村滋国家安全保障局長のほか、米国のオブライエン大統領補佐官(国家安全保障問題担当)、韓国の鄭義溶国家安全保障室長が出席する。

米、北朝鮮に自制求める 国防長官

2020/1/3 07:38 (JST)共同通信社



エスパー米国防長官

【ワシントン共同】エスパー米国防長官は2日、FOXニュースのインタビューに応じ、核実験や大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射実験の中止措置撤回を示唆した北朝鮮に「抑制を強く求めたい」と述べ、新たな挑発行動などを控えるよう自制を求めた。

エスパー氏は「取るべき最良の道は朝鮮半島非核化に向けた政治的合意だ」として、北朝鮮に交渉の席に戻るよう呼び掛けた。

その上で「軍事的な観点で言えば、いつでも戦う準備はできている」と指摘。「われわれの準備態勢は北朝鮮のあしき行動を抑止できる。もし必要になれば、戦って勝つことに自信を持っている」などと話した。

米大統領、北朝鮮に対話復帰促す 正恩氏は「約束守る男」

2020/1/1 15:15 (JST)共同通信社



記者団の質問に答えるトランプ大統領 (AP=共同)

【ワシントン共同】トランプ米大統領は米東部時間の12月31日、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が党中央委員会総会で「新たな戦略兵器」の登場を予告したことを受け「彼は非核化に関する合意文書に署名した。約束を守る男だ」と述べ、米朝対話に立ち戻るよう促した。南部フロリダ州の別荘マールアラゴで記者団の質問に答えた。

トランプ氏は金氏との関係が良好だと改めて強調し、北朝鮮が言及している米国へのプレゼントについては「美しい花瓶だとい

いが」と冗談を語った。大陸間弾道ミサイル発射実験などを北朝鮮が控えてきたことを外交成果と強調しており、刺激を極力避けたい考えとみられる。



ポンペオ米 국무長官

米大統領「金正恩氏は非核化の約束守る男だ」

日経新聞 2020/1/1 11:34 (2020/1/1 15:48 更新)



トランプ大統領は非核化合意の順守

を金正恩(キム・ジョンウン)委員長に促した=AP

【ワシントン=永沢毅】トランプ米大統領は31日、北朝鮮が米国との対決姿勢に傾きつつあることについて「金正恩(キム・ジョンウン)委員長は非核化の合意にサインした。彼は約束を守る男だ」と述べた。米朝首脳会談での非核化合意を順守し、米朝交渉を再開するよう求めた発言だ。訪問先の南部フロリダ州で記者団に語った。

トランプ氏は金正恩氏が「新たな戦略兵器」を予告したことを念頭に「様子を見てみよう。私たちの関係は良好だ」と引き続き状況を注視する姿勢を示した。

これに関連し、ポンペオ 국무長官は同日のFOXニュースのインタビューで「金正恩氏が紛争や戦争ではなく、平和と繁栄を選ぶよう望んでいる」と表明。北朝鮮に米朝対話に復帰するよう改めて求めた。

CBSテレビでは「もし金正恩氏がトランプ大統領への約束をほごにしたらとても失望させられる」と語った。ポンペオ氏によると、トランプ氏が大規模軍事演習を実施しないと同意したのと引き換えに、金正恩氏は大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射や核実験の凍結を約束したという。

ポンペオ氏も「私たちは約束を守ってきた」と述べ、合意順守に期待を示した。

トランプ大統領「キム委員長は約束破るかも」

NHK2020年1月6日 11時30分



北朝鮮情勢をめぐり、トランプ大統領は5日、キム・ジョンウン(金正恩)委員長について「彼は私への約束を破るとは思わないが、破るかもしれない」と述べました。

これはトランプ大統領が滞在していた南部フロリダ州からワシントンに向かう大統領専用機の機内で同行記者団に対し述べたものです。

北朝鮮をめぐるのは先月 31 日まで開かれた朝鮮労働党の重要会議で、キム・ジョンウン委員長が核抑止力の強化や新たな戦略兵器について言及したことから、国際社会では新たな挑発に対する警戒感が広がっています。

トランプ大統領としては北朝鮮に引き続き、非核化を促しながら北朝鮮側の今後の出方を注視する考えとみられます。ただ、これまで米朝首脳会談などをみずからの成果としてアピールしてきただけにトランプ大統領としてはイラン情勢とともに、北朝鮮情勢でも難しい状況に直面しています。

米長官、北朝鮮の党総会を注視 「衝突ではなく平和を」

2019/12/31 09:12 (JST)共同通信社

【ワシントン共同】ポンペオ米国務長官は 30 日、保守系 FOX テレビのインタビューで、北朝鮮で 28 日から続く朝鮮労働党中央委員会総会を注視していると強調し、北朝鮮が衝突ではなく平和の道を選ぶことを望んでいると訴えた。

金正恩委員長は膠着状態に陥った米国との非核化交渉について年末に「最終判断」するとしており、米側は警戒を強めている。

ポンペオ氏は「核放棄が最も良い行動だと北朝鮮指導者に理解させることは可能だと今も思っている」と強調。「北朝鮮が衝突に向かう道ではなく、平和に通じる決定を下すことを希望している。北朝鮮が正しい選択をすることを望んでいる」と述べた。

中国、北朝鮮に「緊張高めるな」 半島情勢で対話促す

2020/1/2 20:51 (JST) 1/3 07:09 (JST)updated 共同通信社



耿爽副報道局長＝2019年11月28日

【北京共同】北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が「戦略兵器」開発を進める考えを示したことに関し、中国外務省の耿爽副報道局長は 2 日、定例記者会見で「緊張を高め、対話に不利となる行動を取ってはならない」と述べ、米国と北朝鮮に自制を促した。

耿氏は「対話を続け、朝鮮半島問題の政治的解決を進めることは、関係各国の共通の利益だ」と指摘。「北朝鮮と米国が対話を堅持し、互いに歩み寄り、行き詰まりを打開する方法を積極的に探し求めることを望む」と述べた。

正恩氏「長い闘争を決意」 外交、軍事で対応準備

2019/12/31 09:42 (JST) 12/31 16:11 (JST)updated 共同通信社



30 日、朝鮮労働党中央委員会総会の 3 日目の会議に出席する金正恩委員長 (朝鮮中央通信＝共同)

【北京共同】北朝鮮で 30 日、朝鮮労働党中央委員会総会の 3

日目が開かれた。金正恩委員長は国の自主権と安全を徹底して守るため、積極的に攻撃的な「政治外交、軍事的対応措置」を準備すると表明。「わが人民が豊かに暮らすため、党は再び苦しい長い闘争を決意した」と述べた。朝鮮中央通信が 31 日伝えた。非核化を巡る米朝交渉で一切譲歩せず、制裁継続を覚悟し長期戦で臨む構えとみられる。

金氏は米朝交渉を巡り年末に最終判断するとしており、1 月 1 日の「新年の辞」で立場を公表する見通し。朝鮮中央通信によると、総会は 12 月 31 日も続けられ、異例の年末 4 日間開催となった。



北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長 (朝鮮中央通信＝共同)

文大統領「米朝は対話意志持続」 南北関係改善に意欲

2020/1/2 12:00 (JST)共同通信社

【ソウル共同】韓国の文在寅大統領は 2 日、ソウル市内で新年のあいさつをし、北朝鮮の非核化協議について「米朝首脳間の対話の意志は持続している」との見解を示した。南北関係を改善させていく考えも改めて強調し「平和は行動なしには訪れない」と述べた。

韓国国防省報道官は 2 日の定例記者会見で、北朝鮮が「新たな戦略兵器」に言及したことに関し「綿密に (動向を) 見守っている」と説明した。

北朝鮮が強く反発している米韓合同軍事演習の実実施計画に関しては「非核化に向けた外交的努力を支援するため、韓米間で緊密に協力し調整していく」との基本的な立場を示すにとどめた。

韓国、北朝鮮に自制求める 米との対話中断宣言無しは評価

2020/1/1 17:52 (JST)共同通信社

【ソウル共同】韓国統一省報道官は 1 日、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が党中央委員会総会で「新たな戦略兵器」の登場を予告したことについて、「北朝鮮が行動に移した場合、非核化協議などに助けにならない」と自制を求める論評を発表した。「米国との対話中断を宣言しなかったことは評価する」とした。

北朝鮮は米韓合同軍事演習などに反発しているが、論評では「米韓は (北朝鮮との) 対話が進んでいる間、事実上、大規模合同訓練の実施を自制してきた」と主張した。「米朝間の対話が早期に行われ、実質的な進展につながることを期待する」とも表明。南北関係進展に向けた努力も続けるとした。

国連総長、北朝鮮に懸念表明 非核化へ対話支持

2020/1/2 09:04 (JST)共同通信社

【ニューヨーク共同】国連のグテレス事務総長は 1 日、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が核実験や大陸間弾道ミサイル (ICBM) 発射実験の再開を示唆したことに対し「深く懸念している」と表明した。

グテレス氏は、北朝鮮が国連安全保障理事会決議に沿って核・ミサイル実験を再開させないことを「非常に強く期待する」と述べた上で「朝鮮半島の完全かつ検証可能な非核化に向けた対話の再開を重ねて支持する。外交交渉こそが持続可能な平和につながる唯一の道だ」と強調した。

綱渡りの日韓 「朝鮮半島ファイル」まとめ読み

2020/1/3 0:00 日本経済新聞 電子版



「朝鮮半島ファイル」は激動する北朝鮮や日韓関係の最新情勢、韓国の政治や社会の変化の最前線をベテラン記者が報告する国際セクションの人気コラムです。今回は2019年に読まれた記事を筆者2人が振り返りながら、2020年を展望します（日付は公開日）。

■日韓摩擦、特筆すべき1年

日韓摩擦の歴史の中でも2019年は特筆すべき1年でした。

7月の「日韓対立、未体験ゾーンに 輸出規制巡り」（7月12日）では、史上初めて「経済」が主戦場となった異例の展開と、安全弁も崩壊した確執の根深さを描きました。

日韓対立が長引いている背景には「1強」同士である首相官邸と大統領府が陣頭指揮を執った点も見逃せません。文在寅（ムン・ジェイン）大統領は野心を抱えて日本への対抗意識をむきだしにしました（「対韓輸出規制 文大統領が得るモノ、失うモノ」、7月26日）。

日本に握手を求めたとたんには牙をむく。そんな日本人には理解に苦しむ革新系大統領と参謀チームの思考回路に迫ったのが「文大統領の対日姿勢はジキルとハイド」（8月23日）と「韓国・文政権の『586』世代、対日外交を軽視」（1月11日）です。

日韓軍事情報包括保護協定（GSOMIA）の失効阻止に動いたトランプ米政権は何を警戒していたのか。米韓同盟が緊張の度を増すにつれ、「日韓 GSOMIA、米国を突き動かす『陰の主役』」（11月14日）の存在が浮き彫りになりました。

「北朝鮮が恐れるトランプ氏のフェードアウト」（2月22日）は、この5日後にハノイで開く米朝首脳会談に向けた北朝鮮側の誤算の内幕を明かしました。2020年も日韓関係と国際政治は運動しながら進みそうです。ともに目が離せません。

（編集委員 峯岸博）

■にじむ現状への不満

日本と韓国、男と女、保守と革新、持つ者と持たざる者——。2019年は韓国で対立と葛藤が深まった1年でした。記事を振り返って感じるのは、韓国の人々の心の中にくすぶる現状への強い不満感です。

「韓国の日本製品不買運動 若者ら SNS で持久戦」（10月24日）では、不買運動の動機が日本への怒りから、ゲーム感覚の面白さに変わっていく様子を描きました。

不買運動を先導する20～30代は就職難に見舞われ、恋愛や結婚、出産を放棄する「3放世代」と呼ばれます。厳しい現実への不満

のはけ口が日本に向けられている印象を受けます。

「ベストセラー『反日種族主義』、韓国革新派に危機感」（12月20日）では、従軍慰安婦を象徴する少女像につばを吐きかけた青年が登場します。偽悪的にあえて「親日派」と名乗る彼らからは、社会のメインストリームにいる人々への強い敵意を感じます。「『82年生まれ、キム・ジョン』が映す韓国社会の葛藤」（11月7日）では「差別されているのは女性じゃない。俺たちだ」と主張する若い男性に焦点をあてました。彼らはいまや、女性政策に熱心な文政権の「核心的不支持層」です。

2020年の焦点は人々の不満が社会をどう動かしていくかです。4月には総選挙があります。5年の任期を折り返した文政権の信任投票の性格を帯びます。与党が苦杯を喫すれば、文氏の政権基盤を揺るがしかねません。

（ソウル支局長 鈴木壮太郎）

2019年、読まれた記事（日付は公開日）】

日韓 GSOMIA、米国を突き動かす「陰の主役」（11月14日）

対韓輸出規制 文大統領が得るモノ、失うモノ（7月26日）

文大統領の対日姿勢はジキルとハイド（8月23日）

韓国の日本製品不買運動 若者ら SNS で持久戦（10月24日）

ベストセラー「反日種族主義」、韓国革新派に危機感（12月20日）

日韓対立、未体験ゾーンに 輸出規制巡り（7月12日）

北朝鮮が恐れるトランプ氏のフェードアウト（2月22日）

GSOMIA 延長の背後に金正恩氏の「雄大な作戦」（11月28日）

「82年生まれ、キム・ジョン」が映す韓国社会の葛藤（11月7日）

韓国・文政権の「586」世代、対日外交を軽視（1月11日）

韓国大統領 「米朝は対話の意志持続」 南北関係発展に努力

NHK1月2日 16時12分



韓国のムン・ジェイン（文在寅）大統領は、2日行った新年のあいさつで、朝鮮半島情勢について「アメリカと北朝鮮は対話の意志を持続している」という見解を示したうえで、韓国としても南北関係の発展に努める考えを強調しました。

韓国のムン・ジェイン大統領は、2日、ソウルにある商工会議所で新年のあいさつをしました。

この中で、北朝鮮のキム・ジョンウン（金正恩）朝鮮労働党委員長が「新たな戦略兵器を目撃することになるだろう」と述べるなど、米朝の非核化交渉が難航している朝鮮半島情勢について「米朝の首脳は対話の意志を持続している」という見解を示しました。そのうえで「平和は行動なしには訪れない。南北関係においても、さらに幅を広げて努力していく」と述べ、韓国としても南北関係の発展に努める考えを強調しました。

また、ムン大統領は「ことしは、確実な変化を作り出す」として、「権力機関の改革」を掲げ「権力機関が国民の信頼を得られるときまで改革を止めない」と述べました。

具体的な機関を名指しはしませんでした。韓国メディアは、検察改革をさらに進める構えだという見方を伝えています。これに先立ち、ムン大統領は、2日、与党の前の代表で検察改革の推進に意欲を示すチュ・ミエ（秋美愛）氏を新しい法相に任命し、4月には総選挙を控え、大統領府と検察の対立がさらに激しさを増すことが予想されます。

揺らぐ北朝鮮への制裁体制 圧力維持は一層困難な状況

NHK1月2日 14時45分



核とミサイル開発を続ける北朝鮮に対して、国連の安全保障理事会は資金源を断つための制裁決議を採択し、各国に着実な実施を求めています。しかし、北朝鮮による巧妙な制裁逃れに加えて、中国とロシアが歩調を合わせて制裁の緩和を求めていることから、北朝鮮への圧力を維持することは一層難しい状況となっています。

国連安保理は2006年以降、北朝鮮が核実験や弾道ミサイルを発射するたびに開発資金を断つためとして、北朝鮮産の石炭の輸出禁止や、海外で働く北朝鮮労働者の本国送還などの制裁決議を全会一致で採択してきました。

しかし、北朝鮮と結び付きの強い中国とロシアは先月、国民生活に深刻な影響があるなどとして送還の停止を求める決議案を安保理に提出し、制裁の緩和に向けた具体的な行動を取り始めています。

実際に、送還期限の先月22日を過ぎても、北朝鮮労働者は中国やロシアにとどまっていることが確認されていて、両国は制裁に違反して北朝鮮による外貨稼ぎを黙認する形となっています。

また、制裁決議で取り引きが制限もしくは禁止されている石油精製品や鉱物を北朝鮮の貨物船が公海上で積み替える瀬取りも依然として確認されていて、安保理の北朝鮮制裁委員会の関係者は、「制裁違反が横行している」と指摘しています。

アメリカやEU諸国は、北朝鮮による非核化の具体的な措置がないかぎり制裁を維持する立場ですが、経済的なつながりが深い中国とロシアが一致して制裁の緩和を強く求め、これに同調する声も広がりつつある中で、北朝鮮への圧力を維持することは一層難しい状況となっています。

香港、元日デモに百万人 警官隊と衝突、破壊行為も

2020/1/1 22:42 (JST)共同通信社



香港中心部で「香港独立」を掲げデモ行進する人たち=1日（共同）

【香港共同】香港中心部で1日、民主派団体「民間人権陣線（民

陣）」が普通選挙導入など「五大要求」を掲げ、政府への抗議デモを実施した。民陣によると、参加者は100万人以上（警察発表は約6万人）。数千人規模だった近年の元日デモ参加者数を大幅に上回り、政府への不満の根強さを示した。

警官隊は一部のデモ隊と衝突し、催涙弾を放った。デモ隊は火炎瓶などを投げつけた。沿道の銀行などへの破壊行為も見られた。

民陣は警察の求めに応じ、デモを途中で中止したが、その後も黒服姿の若者らが路上で物を燃やすなど混乱が続いた。

香港、大みそかも抗議活動 市民らが「人間の鎖」

2020/1/1 00:29 (JST)共同通信社



「光復香港、時代革命（香港を取り戻せ、時代の革命だ）」と書かれた旗を持って「人間の鎖」をつくる市民ら=31日、香港（共同）

【香港共同】香港では大みそかの31日、各地で政府への抗議活動が行われた。警察は、繁華街モンコック（旺角）で「暴徒」が道路に障害物を置いて通行の妨害をしたとしてデモ隊を排除した。現場ではデモ隊が抗議のシュプレヒコールを続け、騒然とした。

コーズウェイベイ（銅鑼湾）のショッピングモールでは、黒服姿の若者ら約100人がフロアを練り歩き、「光復香港、時代革命（香港を取り戻せ、時代の革命だ）」とスローガンを叫んだ。

夜には香港各地で、普通選挙の導入など「五大要求」を掲げる多くの市民らが手をつないで「人間の鎖」をつくり、非暴力で国際社会に支持を訴えた。

香港 元日もデモ行進 警察が行進の中止を命じる事態に

NHK1月1日 23時13分



抗議活動が続く香港では、1日、民主派の団体の呼びかけで元日恒例のデモ行進が行われ大勢の市民が参加しましたが、一部の参加者が銀行や飲食店を破壊したとして、警察が行進の中止を命じる事態となりました。

1日、香港で行われたデモ行進は、民主派の団体が呼びかけたもので、若者や家族連れなどが「暴政を許すな」とか「香港のために立ち上がろう」などと声を上げながら香港島の中心部を練り歩き、警察の取り締りが適切かどうかなどを調べる独立調査委員会の設立や、民主的な普通選挙の実施などを求めました。

香港ではこれまでも毎年、政府に対する要求を掲げて元日に数千人規模のデモ行進が行われてきましたが、地元メディアによりますと、ことしはデモ隊による過激な行動に備えて、警察官6000人が警戒に当たったということです。

行進は当初、混乱なく行われていましたが、警察は、夕方になって一部の参加者が銀行や飲食店を破壊したとして、催涙ガスで強

制排除に乗り出したほか、予定の時間を早めて中止するよう命じました。

主催者側は強く反発

これに対し主催者側は強く反発したうえで、今回のデモ行進は100万人以上が参加し一連の抗議活動の発端となった去年6月のデモに匹敵する規模だったとして、デモの勢いは衰えていないと主張しています。

命令の後も多く市民が通りにとどまり一部は火炎びんを投げるなどして混乱が続き、複数が警察に拘束されました。

抗議活動はことしも続く予想

香港では、7か月近くにわたり抗議活動が続いていますが、政府側は、市民の要求を受け入れない立場を崩していません。

これに対し、民主派の政党や団体などはことし9月に行われる立法会の議員選挙に向けて、政府への圧力をさらに強める構えで、抗議活動はことしも続くことが予想されます。

参加者「家族と過ごすよりも大事なことがある」

デモ行進に参加した20代の男性は「いつもなら家族や友達と過ごす日ですが、いまはそれよりも大事なことがあると思い参加しています。民主的な普通選挙を実現させてよりよい香港にしたい」と話していました。

また20代の女性は「市民の要求は残されたままです。多くの市民が拘束されても、私たちは政府を恐れていないことを見せたい」と話していました。